

相済に預つておられる、また少しも射射される必要を認めないので言明してある。これでは戦債問題をめぐり、世界経済不況打倒策も見込め薄く見ぬばならぬ。しかりば、日本の経済界はどうかと云ふに前述の世界的影響を國內に、更に昨秋帝都を中心として、起らんとし、某重大事件の起る所の不安に迫られ、しかも、英國に於ける金相皮の停止に依る、世界に及ぶ影響は、遂に日本も再び金輸再禁の止むなき状態になり、私利の爲の國家の射野共は所謂希買に狂奔し、ために吾國財界及政局の不安を極度に呈し、遂に吾國内閣倒壊し、大衆内閣出現して、予定の如く金輸再禁となつた。

此間滿洲の事情は急迫、事件勃発して國內は更に騒然、且の餘波は五月十五日突如帝都に迫つた少壯軍人のためしかも、白登官軍部は遂に大獲首領は暗殺せられた。

三百余名の政友會は、遂に政治の中心から奪脱せられた。行憲國體は非常時勸力内閣として、名乗り上げだが、それは結局に於て、資本家非常時救済内閣に過ぎない。

見よ、中小商工業救済の金融と云ひ、農村救済の土産事業と云ふ何等の實際

を計得たものあり。本年上月の原より物価高となり、母數せるかに見へるが、それは何れも資本家による、貿易の好転、滿洲國独立乃至、上海、滿洲事件に依る、留學品製造等を中心とする事業の活況、インフレーション政策による蹄奮、農村救済事業等に依つて一時的活況状態らしく景氣を將來に及ぼしつつも正常なるものでは無く、更に経済界の回復と見る事は出来ぬ。

四、それによつて天業者は、益々増大し、資本家の反動的攻勢は益々露骨を極め彼の労働組合法に対する資本家の反動的団体行動、冷血なるメタヤ的露骨の銀行、階級対立の激化は資本家階級の刺戟して止まぬところである、労働階級はこれに對しては、歴史的な生活防衛闘争に努力してゐるが、一方資本家に対しては、吾等の主張に對して理解と協力を求め、団体協約、共働工場等に努力して居るが、未だ初果的なる結果を得るに至らない。

五、更に吾等は、労働組合の戦線統一に向つて努力することに努めた。しかも漢然たる戦線統一の無意味にして、寧ろ有害なるを、知る我等は、過去の労働組合の分裂抗争が、労働組合本来の任務の意見の相異し、各々此れはものではない。